

チュウジュ

はじめて「チュウジュ」と聞いたとき、何のことかわかりませんでした。中受＝中学受験の略という。冬休み明け、一部の小学校では登校人数がガクンと減っている。受験の追い込みで休む子が珍しくないからです。歯抜け模様の教室で教壇に立つ先生は、少々気の毒に思える。

菅原道真公を祀った東京湯島天神では、こんもりと積み上がった絵馬の山がいくつも出来ています。人様の願いを覗くことに、些か後ろめたさを覚えつつ眺めると、幼い字で「〇〇中学に受かりますように」と中学合格の祈願が目白押しです。何百人分もの志望校と氏名を両面に満載した巨大絵馬も奉納されていました。

少子化と裏腹に受験熱は高まり続けています。首都圏模試センターによると、昨春に首都圏で中学受験をした子供は、公立中高一貫校を含めて、6万2千人余に達した。受験率は2割を超す。リーマンショックや東日本大震災後に減ったものの再び増え、今やバブル期を上回る最多水準です。

塾に通い始める年齢も早まっています。より良い環境を、と願うのは自然のことです。地方で過熱や格差が心配にもなります。教育ジャーナリストの太田さんは、結果は「一瞬の状態を写した一枚の写真にすぎない」（「勇者たちの中学受験」）という。まだ小学生。中学の先にもうれしい涙や悔し涙がいくらでもある。学問の神様はのんびり頑張る子も必ず見てくれています。

鎌野



寒波到来

1月末の寒波は全国的に猛威をふるいましたが、当勝亦家は、3階建てであり、3階の水道はタンクに一度貯めた水をポンプアップしているため、タンクにいるうちに水がキンキンに冷えてしまい、そこからは地上を通過して3階に上がって行くため凍り易くて、1日目は油断していたため、11時半ごろ私が風呂に入り、シャワーの栓を開けた際に手応えがなく、翌日の夕方まで水が出ませんでした。翌日の夜は、洗面所の水を寝る前から細く出していたのですが、朝起きたら凍っていました。水を出しておくなら、割りばしの幅ぐらい出して置かないとダメみたいですが、ポンプアップの場合は、もしかしたら効き目ないのかも知れません。その日は、午前中に直ぐ水が出ましたが、水が使えないと本当に不便です。

当家は、2階は水が出たのですが、それでも不便を感じました。また、管理しているアパートの近所の方から、15時半頃電話が入り、2階の部屋から下の駐車場で水が漏れていると連絡をいただき駆けつけると、水道メーターが凍ってしまい、ガラスの所が割れて、水が吹き出ていました。16時頃に水道課に連絡を入れ、19時頃に見に行ったら、既に水道メーターを交換してくれていました。ありがとうございました。その日は朝-8℃にまでなっていたようです。恐るべし！御殿場！

英樹



配り

第 284 便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室
TEL (0550) 87-0048
FAX (0550) 87-1237
〒412-0035 御殿場市中山518番地



雪積り竹が撓垂れ塞ぐ道屈んで通れば飛びたつスズメ

ねがみともみ



「奇跡です血管太くやわらかい」看護師はいう安堵す我は

林 なをみ



仏前に百合の六片の純白がひらき初めたる新玉の年

勝亦りつ子



失われるもの



七味唐辛子、使っていますか？
うどんや蕎麦、豚汁、牛丼などにさっと振りかけ、爽やかな香りと風味で料理を引き立ててくれますね。柚子の効いたものや、少し煎って香ばしさを増したものの、色々な種類がありますよね。きっとどこのご家庭にも必ず一つは有るんじゃないでしょうか。

ところで皆さんはその七味唐辛子の容れ物というとどんなものを思い浮かべますか？

スーパーなどで市販されている赤い蓋の円筒の硝子瓶でしょうか？寺社の参道の土産屋なんかで見掛けるブリキの容れ物でしょうか？木製の瓢箪型の民芸品、なんて方もいらっしゃるかもしれません。あの木彫りの瓢箪型の容れ物、実はもう作り手が殆ど居なくなり新しい物はもうほぼ手に入らないのだそうです。ご家庭にあの瓢箪がある方は是非大切にしてください。

昭和以前では当たり前だった物や技術が、技術革新や生活様式の変化により失われていく「ロストテクノロジー」がじつは最近になってじわじわと問題に上がってきています。

たとえば長年町工場で使われてきた機械や、レトロな家電などの修理の技術者が居なくなったり、部品の調達が出来なくなったりして買い換えを余儀なくされることも。家電ならばまだ良いのですが、工場の特種な機械だったりすると、たとえば下町ロケットの様な工場で作られる特種なネジ。それが国内シェア9割の工場だったりすると、そのネジを使っていた工作機械が直せないが為に廃業、それがきっかけである製品が世界から消えてしまう、なんてこともありえるのです。

ITの世界も例外ではありません。今では廃れた言語で組まれたプログラム、それを扱う社員が退職し、居なくなり、メンテナンスの出来る人材が居なくなる。そして基幹的なシステムが使用不可に、なんてことも。建築の世界でも昔ながらの和室の造作が出来る大工が居なくなります。他人事ではありませんね。

鯨を喰った熊の置物もあと数十年で姿を消すかもしれない。そうするとプレミアムが付いて価値があがるかもしれない。皆さんのお宅にもあの熊がいるんじゃないでしょうか？瓢箪の容れ物と一緒に大切に保管しておきましょう。



柳田 敏和

2023



2023年、令和5年が明けました。あいも変わらず戦争や紛争は消えず、コロナというウイルスは収束の目処も立たず。全国各地で強盗や殺人が次々とおき、10年に一度クラスの大寒波が列島を覆い、雪の被害が映像に写し出される。平々凡々に暮らすことがいかにありがたいことか、一瞬考える。小さな不平不満はほんの小さなことでどうってことないな。と元日に玄関を開け空を見上げながら思った次第です。

それから数日が過ぎ、仕事始めをした途端、世間の流行りに乗っかり、濃厚接触者に。自宅待機となりました。コロナ陽性反応があった本人は発熱があり、熱が上がったので、発熱外来にかかろうかと電話をしましたが、夜の時間帯だったため検査はできず、市販の熱冷ましを飲んでくださいと・・・。発熱はコロナかインフルエンザかただの風邪かわからないので、休日当番医へ行き検査してもらった結果。

“コロナ”保菌者となりました。しかしながら、その時点で熱は下がり気味でしたので、保健所連絡対象外の扱いで、なにも症状がなければ7日間待機であけとなりました。そうなりますと家族はどうなのだろうか？となります。風邪らしき症状はない。市販の抗原検査キットを使い調べてみる他手立てがない。ドキドキしながらキットを使ってみると、陰性となりました。一件の家で完全な隔離は難しい。ともかく食事は別で部屋も別にし、起きたら、寒かろうがなんだろうが窓を開け換気。布団は毎日干していました。お陰様で特に後遺症らしき症状もなく、濃厚接触者は5日間の待機で通常の生活に戻り、陽性者は少し間をおいて、あけ。となりました。他のコロナ陽性者に聞くと味覚や嗅覚に症状が出たり、喉の違和感が治らなず、などと後遺症らしき症状が出た方もいて、症状は人それぞれようです。市販の風邪薬で効くのなら、風邪じゃん！！と突っ込みたくなる感じです。

でも、かかるとどうなるかわからないのでかからないほうがいいと素人は思います。

とても寒い日がつづきます、どうぞご自愛ください。

ねがみ



大寒波

10年に一度の大寒波に日本中が振り回されていましたが、我が家も水道が凍結するという影響がありました。3階だけ凍結し、夜中にトイレを階下に行かなければならないという不便さはありませんでしたが、大雪や立ち往生などのニュースをみるとそれくらいで済んでいるのは幸せなことなのかもしれません。

大寒波の予報を聞いた時、立ち往生した自動車の中で子供をかばうようにし亡くなっていた親子のことが思い浮かびました。まだまだ寒い日が続きますが、痛ましい事故が起きないことを願うばかりです。



祥子